

〈別 冊〉

2 カルテ記載等の具体例

1. カルテ記載の指摘事項（医療保険）

— 別冊ご活用のご案内 —
 本別冊は、2013年8月に発行した第8版に、2014年診療報酬改定、2015年4月の金属材料の変更などを反映したものです。
 なお、最終ページには、2013年9月5日付正誤表も掲載していますので、併せてご活用ください。

歯 科 診 療 録

2 章
 カルテ記載について

公費負担者番号		公費負担医療の受給者番号		保険者番号		0 6 1 3 ○ ○ ○ ○	
受診者	氏名	保険医太郎			被保険者証 記号・番号	1 2 3 ・ 4 5 6	
	生年月日	明大 平	○○年	○月	○日生	男・女	有効期限 平成 ○年 ○月 ○日
	住所	○○○○○○○○ 電話 ○○○○局 ○○○○番			被保険者氏名	保険医太郎	
	職業	本人			資格取得	昭・平 ○年 ○月 ○日	
				事業所 (船舶所有者)	所在地	東京都渋谷区代々木 2-5-5	
				所在地	電話	(03) 3375 局 5121 番	
				名称	全国保険医団体連合会		
				所在地	電話	○○○○局 ○○番	
				名称	開業医健康保険組合		

部 位	傷 病 名	職 務	開 始	終 了	転 帰
1	C3急化Per AA	上外	4月1日	4月6日	治療
1 2	C3慢化Per AA	上外	4月12日	5月10日	治療
75~1 4~1 3~7 1~5	P1	上外	4月13日	月 日	
① 1 2 ③	MT	上外	5月24日	5月31日	
⑦ 6 ⑤	MT	上外	6月2日	6月9日	
2 1 1 2	Hys	上外	6月16日	6月23日	
3	C2	上外	7月2日	7月9日	
7 6 5 6 7	MT	上外	6月9日	7月9日	

開始：それぞれの傷病名ごとに着手した年月日を記載する	〔主訴〕 前歯（上）の歯ぐきが腫れて痛い （他の歯ぐきも腫れて気になる）
終了：それぞれの傷病名ごとに終了した年月日を記載する	
Cの場合など、部位が増えていく場合は最後の部位が終了した日を記載する	
転帰：治療、中止、終了などを記載する	

傷 病 名	労 務 不 能 に 関 する 意 見		入 院 期 間
	意見書に記入した労務不能期間	意見書交付	
	自 月 日 至 月 日 日間	年 月 日	自 月 日 至 月 日 日間

業務災害または通勤災害の疑いがある場合は、その旨

備 考

カルテ使用の略称を用いるか
 通常用いられているものを使用する

保険証のコピー添付は不可

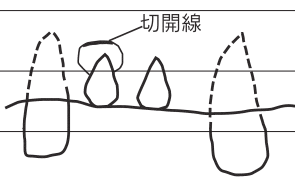
記載が望ましい

終了したときに必ず記載する

患者の言葉や参考となる
 事項を記載する

■「意見書に記入した労務不能期間」欄には、被保険者が保険給付（傷病手当金支給）を受けるため、保険医の意見を求めた場合に、療養のため労務不能であったと認めた期間を記載する。
 ■「意見書交付」欄には、被保険者に保険給付を受けるために必要な意見書（傷病手当金支給）を交付した年月日を記載する。

■業務災害、通勤災害の疑いが認められた場合、傷病名および傷病原因を記載する

月日	部 位	療 法 ・ 処 置	点数	負担金額
4 1		初診 ← 現症・現病歴も記載する	234	
		X-Ray ①パノラマ (パ電) ← 必ず読影をし、所見を記載する	402	
	112	②デンタル (電)	48	
	1	OA (薬剤名略) + 歯科用キシロカインCt 1.8ml 浸麻1.0ml	—	
		膿瘍切開 排膿 (+)	230	
		消炎処置	144	
			—	
		消炎後抜歯の予定 説明	—	
		処方料	42	
		調剤料	9	
		薬剤情報提供料	10	
		Rp) ① フロモックス錠100mg (3 T× 1 3日分) (毎食後)	16×3	
		② ロキソニン錠60mg 2 T× 1 回分 (疼痛時)	3×1	
4 2		③ 再診 ← 自分だけの用語を作らない	45	
	1	根治 根貼	26	
		SP (アクリノール) 排膿 (-) 圧痛 (+) 自発痛 (-)	—	
		腫脹 (+)	—	
4 5		再診	45	
	1	OA (薬剤名略) + 歯科用キシロカインCt 1.8ml 浸麻1.0ml	—	
		抜歯 (オキシテトラコーン1ケ)	150	
		処方料	42	
		調剤料	9	
		Rp) ① フロモックス錠100mg (3 T× 1 3日分) (毎食後)	16×3	
		② ロキソニン錠60mg 2 T× 2 回分 (疼痛時)	3×2	
4 6		再診	45	
	1	SP (アクリノール) 圧痛 (+) 出血 (-) 自発痛 (-)	—	
4 12		再診	45	
	2	OA (薬剤名略) + 歯科用キシロカインCt 1.8ml 浸麻1.0ml	—	
		抜歯 (オキシテトラコーン1ケ)	150	

訂正は二本線で行う
修正液などを用いない

実際の使用量を記載する

力価、濃度規格単位、使用量、使用方法(服用方法)を記載する

本人の状態を記入する。また、鎮痛剤、抗生剤の服用後の状態も確認する

月日	部 位	療 法 ・ 処 置	点数	負担金額
		投薬せず。 鎮痛剤が残っているため	—	
4 13		再診	45	
	2	SP (アクリノール) 良好	—	
		P基検 (検査結果・所見 略)	200	
	上顎	ブラークチャート		
		その 他		
		歯の動揺度		
	顎	ポケットの深さ		
		類 側		
		口蓋側		
	下顎	ポケットの深さ		
		舌 側		
		類 側		
		歯の動揺度		
	顎	その 他		
		ブラークチャート		
		(治療計画)	—	
		早期の歯石除去、咬合が不安定なため早期の補綴が必要	—	
		ブラッシングの習慣づけ	—	
	75~1	3~7 スケーリング	66+38×2	
		P基処 (J) ← 薬剤名を記載する	10	
		歯管	110	
	321 3 ← 3	機械的歯面清掃処置 (DH○○○○) ←	60	
4 20		再診	45	
	4~1	1~5 スケーリング	66+38×2	
4 28		再診	45	
		P基検 (検査結果・所見 略)	100	
	上顎	ブラークチャート		
		その 他		
		歯の動揺度		
	顎	ポケットの深さ		
		類 側		
		口蓋側		
	下顎	ポケットの深さ		
		舌 側		
		類 側		
		歯の動揺度		
	顎	その 他		
		ブラークチャート		

部位を記載する

行間をあげない

部位を記載する

必ず治療計画を立てる

文書以外で必要なことがあれば記載。全体の治療計画も記載し説明する
衛生士が行った場合は氏名を記載する

月日	部 位	療 法 ・ 処 置	点数	負担金額
		(治療計画) 下顎前歯のポケットが深いためSRPが必要	—	
		また、スクラビング法によるブラッシング	—	
		実地指 (衛生士に指示した内容を記載する)	80	
	1	感根処 (NC Po EZ) 貼薬名も必ず記載する	144	
		診療実日数8日	2,904点	
5 6		再診	45	
		歯管 (ブラッシングを必ず食後に行うよう指導)	110	
	1	根貼 (NC Po EZ)	26	
	3 2 1 1 2 3	OA (薬剤名 略) + 歯科用キシロカインCt 1.8ml 浸麻1.8ml	—	
		SRP	60×6	
		P基処 (アクリノール) ← 薬剤名を記載する	10	
5 10		再診	45	
	1	EMR (#60 19mm) ← 拡大号数、根管長を記載する	30	
		根充	68	
		CRF (チャンネルス+ガッタパーチャー) ← 材料名を記載する	130	
		P基処 (J) ← 訂正は二重線で行う	—	
		X-Ray デンタル (電) 根尖部まで気密な根充を確認する	48	
			—	
	3 2 1 1 2 3	P基処 (アクリノール) ← SRP後の状態を記載する	—	
5 17		再診	45	
		P基検 (検査結果・所見 略)	100	
	上	ブラークチャート	[Grid]	
		その他		
	顎	歯の動揺度		
		ポケットの深さ	[Grid]	
		類側		
		口蓋側		
	下	ポケットの深さ	[Grid]	
		舌側		
		類側		
	顎	歯の動揺度		
		その他		
		ブラークチャート	[Grid]	
		(治療計画) 下顎前歯のポケットは多少深い様子を見る	—	
		早期の補綴が必要	—	

管理内容の要点を記載する

拡大号数、根管長を記載する

行間をあけない

部位を記載する

月日	部 位	療 法 ・ 処 置	点数	負担金額
		実地指 (衛生士に指示した内容を記載する)	80	
	1	補診 ←	100	
		コア形成	—	
		支台築造印象 (材料名)	26	
		TeC	—	
5 24		再診	45	
	1	メタルコア (12%金パラ) Set ← 合着剤の名称を記載する	194	
		失PZ	636+30	
	3	OA (薬剤名 ㊟) + 歯科用キシロカインCt 1.8ml 浸麻1.8ml	—	
		生PZ	796	
	①12③	平測 (平行測定器で平行性を確認) ← 使用器具と結果を記載する	50	
		連imp (材料名)	280	
		BT (材料名)	74	
		リテイナー (材料名)	100	
		仮セ (材料名)	4×2	
5 31		再診	45	
	①12③	Br Set (12%金パラ)	150	
		接着セ (材料名) ←	17×2	
		補管 ← または維持管	330	
	1 3	硬レ前装MC	1575×2	
	12	硬レ前装金属ボンティック	1491×2	
		診療実日数 5 日	10,127点	
6 2		再診	45	
	75	OA (薬剤名 ㊟) + 歯科用キシロカインCt 1.8ml 浸麻1.8ml	—	
		生PZ	306×2	
	⑦6⑤	平測 (平行測定器) ← 使用器具を記載する	50	
		連imp (材料名)	280	
		BT (材料名)	74	
		リテイナー (材料名)	100	

製作を予定する部位、欠損部位の状態、名称、設計の要点を記載する

使用金属名を記載する

同じ接着材料Iでも、接着性レジンセメント…17点
接着性グラスアイオーマーセメント…14点

月日	部 位	療 法 ・ 処 置	点数	負担金額
		仮セ (材料名)	4×2	
6 9		再診	45	
	⑦6⑤	Br Set (12%金パラ)	150	
		75 (12%金パラ) FMC	776+904	
		6 (12%金パラ) 鋳造ポンティック	952	
		接着材料 I (材料名)	17×2	
		維持管 ← または補管	330	
		歯管 (ブリッジポンティック基底面清掃について指導) ←	110	
		実地指 (衛生士に指示した内容を記載する)	80	
		機械的歯面清掃処置 (DH○○○○)	60	
		P基処 (J)	10	
	7-5 67	⑥ ← 状態を記載する	—	
6 13		再診	45	
	4 5	鉤歯削合	40	
	7-5 67	機imp (材料名)	270	
	2-2	Hys処置 () ← 薬剤名を入れる	50	
6 16		再診	45	
		咬合採得 (咬合床)	55	
	21 2	Hys処置 (薬剤名)	50	
6 30		再診	45	
	7-5 67	PD Set	763	
		1床5歯レジン歯	26	
		4 5 鋳造レスト付2腕鉤 (12%金パラ)	463×2	
		鋳造リングルバー (12%金パラ)	1178	
		ロウ着	—	
		義管 (着脱時に骨隆起部に注意すること) ←	190	
		診療実日数5日	8,303点	
7 2		再診	45	
		歯管 (食事指導・義歯での咀嚼)	110	

文書以外で必要なことがあれば記載する。
全体の治療計画も記載し説明する。

固有の指導内容を記載する

歯数による算定法なので

21|12

と記載する

部位を記載する

2. 介護保険対象の診療録記載例

月日	部 位	療 法 ・ 処 置	点数	負担金 徴収額
8 30		初診	—	
		主訴：義歯が割れた 脳梗塞・パーキンソン病による右側麻痺、	—	
		歩行・通院困難、家族より訪問診療の依頼あり（要介護4）	—	
		患家 ○○○○のためベッドから起き上がることが困難	—	
		特 顎の安定が得られず歯科衛生士が固定（要介護4）	175	
		訪問診療料（13：30～14：05） 移動困難も体調良好	866	
		急性対応（エンジン）	170	
	7～1 1～6	義歯修理のためのimp（破折片紛失）	60	
		義歯修理のためのBT	278	
	7～1 1～6 6～1 1～7	歯リハ1（有床義歯・困難な場合）	120	
		上顎義歯を預かり修理すること、下顎義歯が不適合による褥瘡	—	
		ができていますので食事以外ははずすことを指導	—	
		介護保険について説明。次回同意してもらうため同意書をわた	—	
		す。ケアマネの住所・TELを聞く	—	
		診療実日数1日	1,669点	
9 1		再診	—	
		特 歯科衛生士が顎を固定し治療（要介護4）	175	
		訪問診療料（13：00～13：30） 移動困難も体調良好	866	
		急性対応（エンジン）	170	
	7～1 1～6	修理Set	432	
		歯リハ1（有床義歯・困難な場合）	120	
		（訪問診療計画の説明）	—	
		①不適合義歯の調整、②鉤歯の歯石の除去、③嚥下訓練、および	—	
		衛生士による定期的な咀嚼嚥下指導	—	
		居宅療養管理指導：嚥下障害がみられるため嚥下訓練	503単位	
		口輪筋の体操	—	
		口を膨らませる } 1回10分をめぐりに1日3回ぐらい行う	—	
		息を吸う訓練（ケアマネに連絡済）	—	
9 15		再診	—	

介護保険部分は太線で囲む

ケアマネジャーへの情報提供文書については、「歯科保険診療の研究2014年4月版」を参照

月日	部 位	療 法 ・ 処 置	点数	負担金 徴収額
		㊦ 横向きにして寝たまま治療 血液、唾液は頬に流し出すよう	175	
		にし、歯科衛生士が開口保持（要介護4）	—	
		訪問診療料（13：00～13：40） 移動困難も体調良好	866	
		急性対応（エンジン）	170	
	7	P基検	50	
		┌ 7 ポケット 5mm 動揺度 2	—	
		└ 7 ┘ ポケット 5mm 動揺度 2	—	
		スケーリング	99+57	
		P基処	15	
		衛生士による居宅療養管理指導	352単位	
		嚥下訓練を行う（前回と同様）	—	
		歯ブラシの指導（家族に対し）	—	
9 29		再診	—	
		㊦ 家族に顔を支えてもらい開口状態を維持（要介護4）	175	
		訪問診療料（13：05～13：40） 移動困難も体調良好	866	
		急性対応（エンジン）	170	
	7	SP（アクリノール）	—	
	7~1 6~1	義調（Dulのため辺縁部を調整）	—	
		居宅療養管理指導：口輪筋の訓練と舌の運動を行う	503単位	
		診療実日数3日	4,406点	

「カルテ記載を中心とした指導対策テキスト」 改定第8版正誤表

2013年9月5日

頁	訂正箇所	訂正前	訂正後																																																																																																
61	表○初診より～	2月「初診」網かけあり	2月「初診」網かけなし 5月、6月、7月、当月 「歯科疾患管理料」網かけあり																																																																																																
		○初診より2カ月を超えて算定した1回目の歯科疾患管理料の算定について $\frac{7}{7} \begin{matrix} \uparrow \\ \downarrow \end{matrix} \frac{7}{7} P$ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>当月</th> <th>7月</th> <th>6月</th> <th>5月</th> <th>4月</th> <th>3月</th> <th>2月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初診 [218]</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>再診 [42]</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>歯科疾患管理料 [110]</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歯科衛生実地指導料 [80]</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	項目	当月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	初診 [218]							1	再診 [42]	3	2	3	5	4	3	3	歯科疾患管理料 [110]	1	1	1	1	1			歯科衛生実地指導料 [80]	1	1	1	1	1	1	1	○初診より2カ月を超えて算定した1回目の歯科疾患管理料の算定について $\frac{7}{7} \begin{matrix} \uparrow \\ \downarrow \end{matrix} \frac{7}{7} P$ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>当月</th> <th>7月</th> <th>6月</th> <th>5月</th> <th>4月</th> <th>3月</th> <th>2月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初診 [218]</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>再診 [42]</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>歯科疾患管理料 [110]</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歯科衛生実地指導料 [80]</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	項目	当月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	初診 [218]							1	再診 [42]	3	2	3	5	4	3	3	歯科疾患管理料 [110]	1	1	1	1	1			歯科衛生実地指導料 [80]	1	1	1	1	1	1	1																
項目	当月	7月	6月	5月	4月	3月	2月																																																																																												
初診 [218]							1																																																																																												
再診 [42]	3	2	3	5	4	3	3																																																																																												
歯科疾患管理料 [110]	1	1	1	1	1																																																																																														
歯科衛生実地指導料 [80]	1	1	1	1	1	1	1																																																																																												
項目	当月	7月	6月	5月	4月	3月	2月																																																																																												
初診 [218]							1																																																																																												
再診 [42]	3	2	3	5	4	3	3																																																																																												
歯科疾患管理料 [110]	1	1	1	1	1																																																																																														
歯科衛生実地指導料 [80]	1	1	1	1	1	1	1																																																																																												
61	表○T. cond中～	7月「義歯調整管理料」網かけなし	7月「義歯調整管理料」網かけあり																																																																																																
		○T.cond中の義管・義調の算定について $7 \begin{matrix} \uparrow \\ \downarrow \end{matrix} 7 \text{ FD フテキ、MT、床下粘膜異常}$ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>当月</th> <th>7月</th> <th>6月</th> <th>5月</th> <th>4月</th> <th>3月</th> <th>2月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初診 [218]</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>再診 [42]</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>T.cond [110]</td> <td>2</td> <td></td> <td>4</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>義歯管理料 [70]</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>義歯調整管理料 [30]</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	当月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	初診 [218]							1	再診 [42]	2	1	4	2	1	3	2	T.cond [110]	2		4	2			3	義歯管理料 [70]		1			1	1		義歯調整管理料 [30]		1				2		○T.cond中の義管・義調の算定について $7 \begin{matrix} \uparrow \\ \downarrow \end{matrix} 7 \text{ FD フテキ、MT、床下粘膜異常}$ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>当月</th> <th>7月</th> <th>6月</th> <th>5月</th> <th>4月</th> <th>3月</th> <th>2月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初診 [218]</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>再診 [42]</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>T.cond [110]</td> <td>2</td> <td></td> <td>4</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>義歯管理料 [70]</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>義歯調整管理料 [30]</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	当月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	初診 [218]							1	再診 [42]	2	1	4	2	1	3	2	T.cond [110]	2		4	2			3	義歯管理料 [70]		1			1	1		義歯調整管理料 [30]		1				2	
項目	当月	7月	6月	5月	4月	3月	2月																																																																																												
初診 [218]							1																																																																																												
再診 [42]	2	1	4	2	1	3	2																																																																																												
T.cond [110]	2		4	2			3																																																																																												
義歯管理料 [70]		1			1	1																																																																																													
義歯調整管理料 [30]		1				2																																																																																													
項目	当月	7月	6月	5月	4月	3月	2月																																																																																												
初診 [218]							1																																																																																												
再診 [42]	2	1	4	2	1	3	2																																																																																												
T.cond [110]	2		4	2			3																																																																																												
義歯管理料 [70]		1			1	1																																																																																													
義歯調整管理料 [30]		1				2																																																																																													
160	〔広告可能事項〕	(社)日本口腔外科学会 口腔外科専門医	公益社団法人 日本口腔外科学会 口腔外科専門医																																																																																																

※正誤表が更新される場合は保団連ホームページにアップされますのでご留意下さい。